

民事執行法の改正により入札時に
次の書面の提出が必要になりました。



暴力団員等に
該当しない旨の

陳 述 書

入札する日において発行後3か月以内の

住民票 資格証明書

(個人の場合)

(法人の場合)

宅地建物取引業の免許証のコピー

(宅地建物取引業者の場合)

※入札時に、入札書ごとに陳述書、住民票・資格証明書を提出しないと入札が無効になります。

※住民票・資格証明書は、入札する日において発行後3か月を超えるものを提出した場合、入札が無効となります。

※記載に不備があった場合、入札が無効になることがあります。

【入札方法に関する問合せ】

東京地方裁判所民事第21部（民事執行センター）執行官室不動産部

☎03-5721-6395

期 間 入 札 の 公 告

令和 8 年 8 月 12 日

東京地方裁判所民事第 21 部

裁判所書記官 塩 田 俊一郎

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8 年 8 月 27 日 午前 9 時 00 分から 令和 8 年 9 月 3 日 午後 5 時 00 分まで
開札期日	日 時 令和 8 年 9 月 9 日 午前 9 時 30 分 場 所 東京地方裁判所民事執行センター売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8 年 9 月 17 日 午前 11 時 00 分 場 所 東京地方裁判所民事第 21 部
特別売却 実施期間	令和 8 年 9 月 10 日 午前 9 時 20 分から 令和 8 年 9 月 14 日 午後 5 時 00 分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則 33 条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8 年 8 月 12 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和7年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1	25,610,000 20,488,000		5,122,000	97,275	20,844
		</			



物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 北区浮間四丁目 19 番地 8

建物の名称 モリスガーデン浮間舟渡

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 浮間四丁目 19 番 8 の 504

建物の名称 504

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 5 階部分 66.92 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 北区浮間四丁目 19 番 8

地 目 宅地

地 積 866.11 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 158178 分の 7132



物 件 明 細 書

令和 8年 7月22日

東京地方裁判所民事第21部

裁判所書記官 吉 川 直 子

1 不動産の表示

【物件番号1】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号1】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号1】

管理費等の滞納あり。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実とそれに基づく法律判断に関して、執行裁判所の裁判所書記官の一応の認識を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。このほか、BITシステムのお知らせメニューにも掲載されています。

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 北区浮間四丁目 19 番地 8

建物の名称 モリスガーデン浮間舟渡

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 浮間四丁目 19 番 8 の 504

建物の名称 504

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 5 階部分 66.92 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 北区浮間四丁目 19 番 8

地 目 宅地

地 積 866.11 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 158178 分の 7132



令和8年(ケ)第148号
令和8年6月15日受理
令和8年7月10日提出
(評価人 岡村淑子)

現況調査報告書

東京地方裁判所
執行官 白石 圭

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 北区浮間四丁目 19 番地 8

建物の名称 モリスガーデン浮間舟渡

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 浮間四丁目 19 番 8 の 504

建物の名称 504

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 5 階部分 66.92 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 北区浮間四丁目 19 番 8

地 目 宅地

地 積 866.11 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 158178 分の 7132



不動産の表示	「物件目録」のとおり	
住居表示	東京都北区浮間四丁目19番地19-504号 モリスガーデン浮間舟渡	
建物	物件1	
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点異なる (☐ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類: ☐ 構造: ☐ 床面積:	
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類: 構造: 床面積:	
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を居宅として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
管理費等の状況	管理費等の月額は次のとおり 管理費 16500 円 修繕積立金 24,960 円 ガーデン使用料 590 円	令和8年6月18日現在 ☐ 滞納はない ☒ 滞納がある 令和7年2月分～令和8年6月分 計 543,730 円。
管理費等照会先	株式会社大京アステージ	
その他の事項		
敷地権	符号1	
現況地目	☒ 宅地 (符号1) ☐ 公衆用道路 (符号) ☐ (符号)	
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐	
敷地権の種類	☒ 所有権 (符号1) ☐ 地上権 (符号) ☐ 賃借権 (符号) ☐ (符号)	
その他の事項	上記土地は北側及び西側で建築基準法上の道路 (区道) に接面している。	
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある { 地方裁判所 支部 令和 年 () 第 号 保管開始日 令和 年 月 日	
敷地権以外の土地 (目的外土地)	☒ ない ☐ ある (詳細は「目的外土地の概況」のとおり)	
土地建物の位置関係	☐ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり
(2 枚目)

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
B (建物所有者Aの妻)	1. 本件建物はAを世帯主として家族3人で居住しています。 2. 本件建物の不具合は、特にありません。 3. ペットは飼っていません。 (令和8年6月16日及び同年7月6日面接聴取) 以 上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(3 枚目)

執行官の意見

1. 本件対象物件の状況は、土地建物位置関係図、建物間取図及び添付写真のとおりである。
2. 本件建物の占有状況等は、次のとおりであった。
 - ① 集合郵便受け（1階）には建物所有者Aの氏名及びその妻子の名が表示されており、案内板（1階）にもAの氏が表示されていた。一方、玄関表札には氏名等の表示はなかった。
 - ② 初回臨場時及び立入調査時にはAの妻であるBが在室しており、同人から関係人の陳述等欄記載の要旨を聴取した。また、立入調査時には同人からA名義の回答書の提出があった。
 - ③ 本件建物内には、家具・寝具・日常生活用品等があり、個人の居宅として使用されていた。
3. 本件建物の占有関係については、上記の現場の状況、提出された回答書及び関係人の陳述等から、本報告書2枚目に記載のとおり、Aが居宅として占有しているものと認定した。

以上

調査の経過

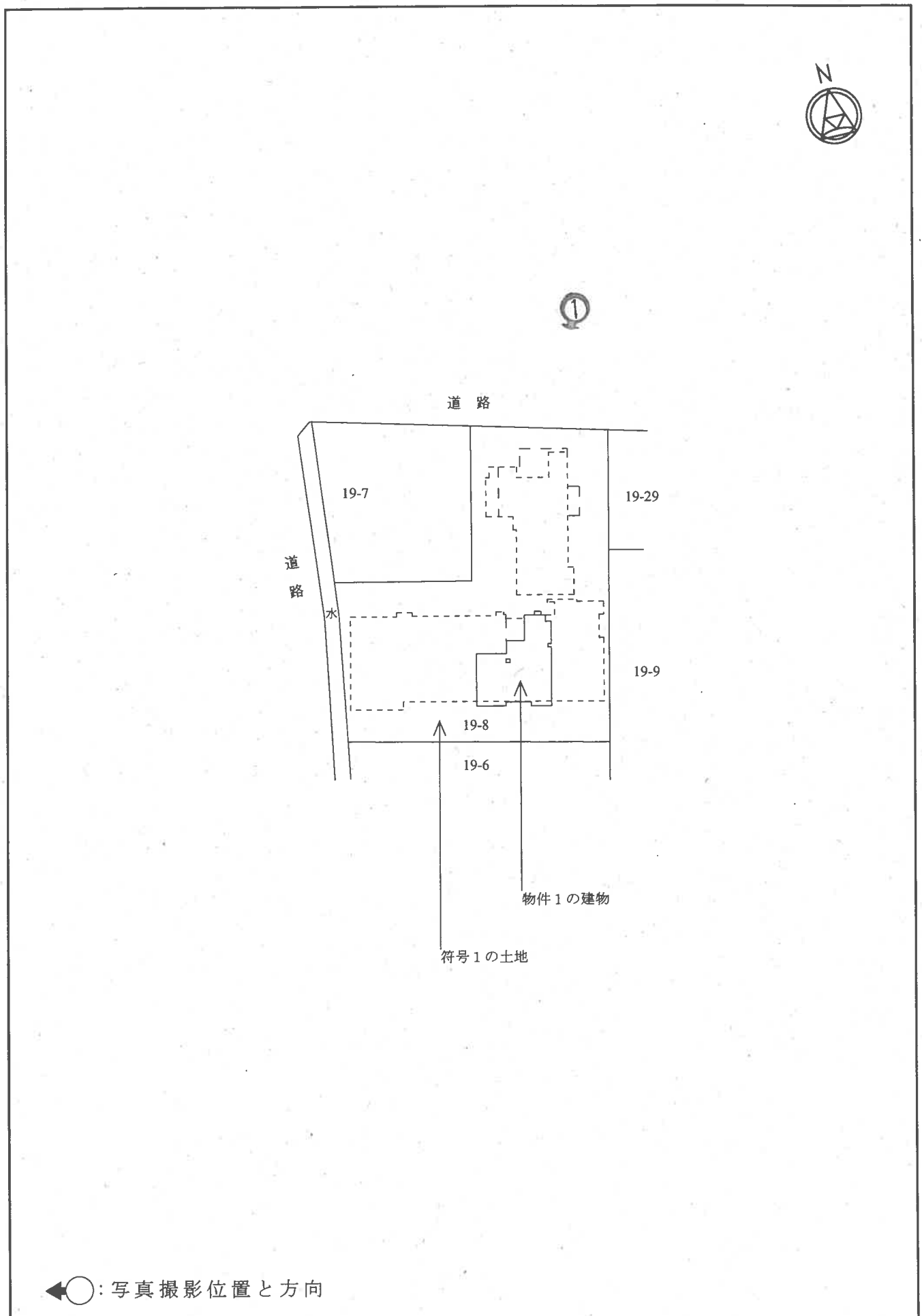
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和8年6月16日 10:40-11:20	物件所在地	☒ 物件確認 ☒ 物件調査 ☒ 占有調査 ☒ 写真撮影 ☐ 図面作成 ☐ 評価人同行 ☒ 建物所有者Aの妻Bから聴取、同人に対し臨場日時通知書・照会書交付
令和8年6月16日	当庁	☒ 管理費等に関する調査（FAX）
令和8年7月6日 14:45-15:07	物件所在地	☒ 物件確認 ☒ 物件調査（立入調査） ☒ 占有調査 ☒ 写真撮影 ☒ 図面作成 ☒ 評価人同行 ☒ Bから聴取

(特記事項)

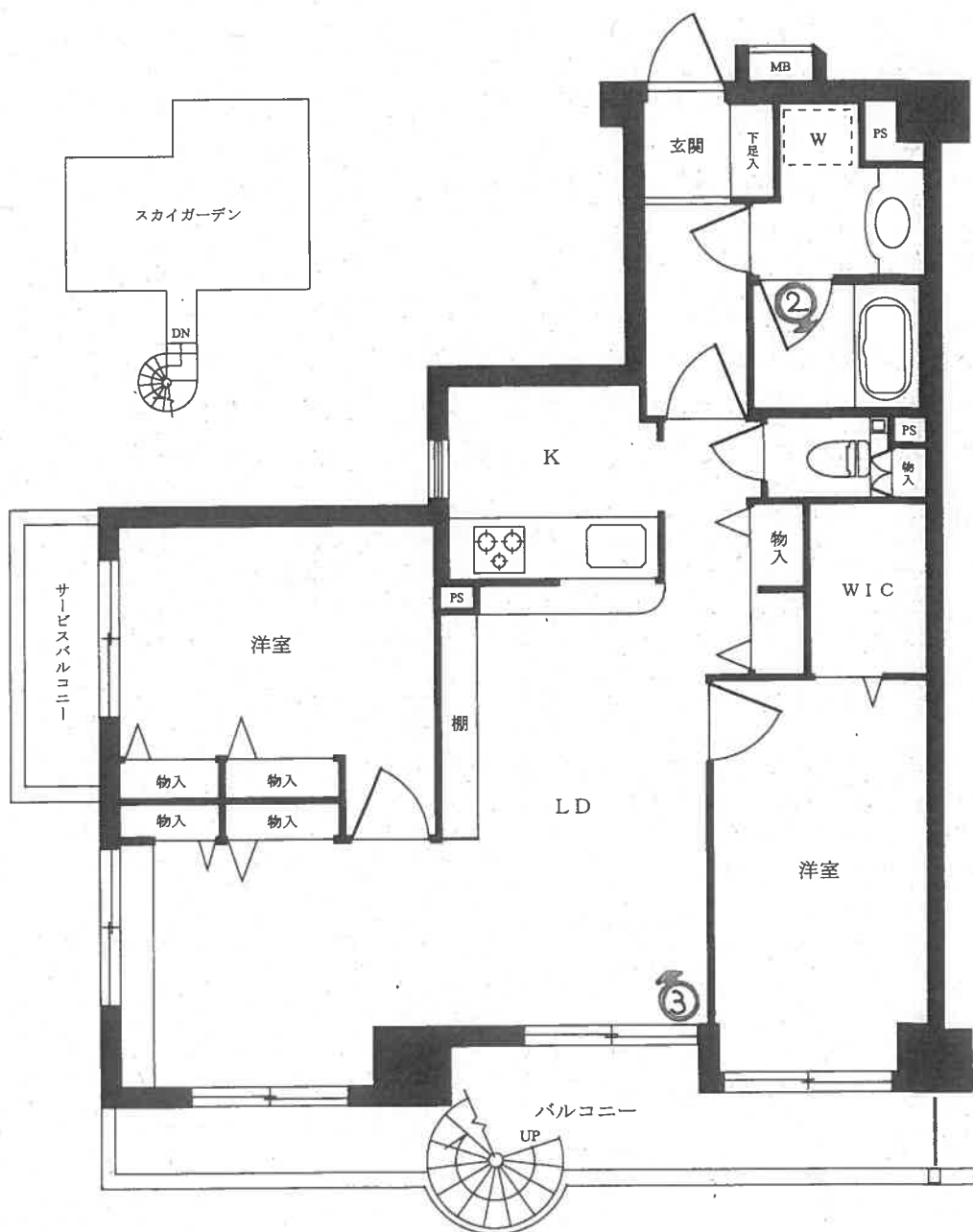
- ☒ 令和8年7月6日
目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行させて臨場した。
- ☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。
- ☐ 令和 年 月 日
休日・夜間執行許可の提示をした。

(写真3葉添付)

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(5 枚目)



504



◐: 写真撮影位置と方向

01



02



03



令和8年（ケ）第148号

令和8年7月6日 現地調査

令和8年7月10日 評価

東京地方裁判所 御中

評 価 書

評価人 岡村 淑子

第1 評価額

物件番号	評 価 額
1	金25,610,000円

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却されることを前提とした適正価格を求めるものである。

したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。

- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。

- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。

- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所在等	登記	現 況
1	次頁物件目録記載のとおり		(住居表示) 北区浮間4-19-19 (マンション名、部屋番号) モリスガーデン浮間舟渡 504号室
番号	特記事項		
—	なし		

*現況欄に記載のない事項については、登記記録とほぼ同じである。

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 北区浮間四丁目19番地8

建物の名称 モリスガーデン浮間舟渡

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 浮間四丁目19番8の504

建物の名称 504

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 5階部分 66.92平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 北区浮間四丁目19番8

地 目 宅地

地 積 866.11平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 158178分の7132

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等

位 置 ・ 交 通	JR埼京線「浮間舟渡」駅の南東方約500m（道路距離、徒歩約7分）、北区浮間4丁目19番街区に位置する。 （附属資料「位置図」参照）	
付 近 の 状 況	共同住宅、事業所等が建ち並ぶ地域。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 （道路の幅員等の 個別的な規制を考 慮しない一般的な 規制）	都 市 計 画 区 分 用 途 地 域 建 蔽 率 容 積 率 防 火 規 制 そ の 他	市街化区域 準工業地域 60% （指定） 200% （指定） 準防火地域 第2種高度地区、日影規制等
画 地 条 件	地 積 形 状 間 口 ・ 奥 行 地 勢	866.11 m ² （登記面積） ほぼL字形 北側間口約16m、奥行約37m 平坦地
接面道路の状況等	北側で幅員約6m舗装区道に、西側で幅員約7.6m舗装区道（それぞれ建築基準法第42条1項1号該当）にほぼ等高に接面する二方路地。	
土地の利用状況等	物件1建物を含む後記一棟の建物の敷地等として利用されている。 建物の配置は、附属資料建物図面・各階平面図写のとおり。	
供 給 処 理 施 設 （基本的には敷地内へ の引き込みの有無を基 準としている）	上水道 ： あり ガ ス ： あり 下水道 ： あり	
敷 地 権 の 表 示	敷地権の種類 所有権 敷地権の割合 158,178 分の 7,132	
特 記 事 項	北区ハザードマップによると洪水・高潮・内水氾濫浸水想定区域にある。	

2 建物の概況

(1) 一棟の建物の概要

マンション名	モリスガーデン浮間舟渡	
建物の用途	共同住宅(総戸数25戸)	
建築時期及び経済的残存耐用年数	建築年月日(登記記載) 経過年数 経済的残存耐用年数	平成9年8月22日新築 約29年 約21年
構造・延床面積	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建、 延べ 1,800.23㎡	
仕様	外壁 その他	タイル等 なし
設備等	エレベーター、オートロック、集合郵便受、宅配ボックス、 ゴミ置場、駐車場、駐輪場等	
建物の品等	普通	
管理の形態等	管理組合 管理会社 管理形態	あり 株式会社大京アステージ 委託管理
管理の状況	普通	
特記事項	マンションの建築計画概要書によると、住宅の部分は1721.82㎡となっており、工事完了の検査済証が交付されている。	

(2) 専有部分の概要

構 造 ・ 種 類	鉄筋コンクリート造1階建・居宅	
位 置	5階（504号室）・中間部屋 主要開口部の方位：南・西向き	
床 面 積	専有面積	66.92㎡
	共用部分を含む 現況床面積	81.24㎡
間 取 り	2LDK・ウォークインクローゼット	
バルコニー等	南側にバルコニー、西側にサービスバルコニー、屋上にスカイガーデン(ルーフバルコニーのようなもの)あり。	
仕 様	天 井：ビニールクロス等 床：フローリング等 内 壁：ビニールクロス等 設 備：ユニットバス、キッチン、トイレ等	
保守管理の状態	概ね普通	
管 理 費 等	管 理 費 月 額 16,500円 (令和8年6月18日現在 以下同じ) 修 繕 積 立 金 月 額 24,960円 そ の 他 ガーデン使用料月額590円 滞 納 額 543,730円 遅 延 損 害 金 なし	
専 有 部 分 の 利 用 状 況 等	建物所有者が居宅として利用している。	
特 記 事 項	屋上のスカイガーデンにはバルコニーの螺旋階段から往来できる。	

第5 評価額算出の過程

本件は都市型の区分所有建物であり、買受人が、収益用不動産として保有することも社会的・経済的観点から合理的と判断されるため、積算価格と収益価格を求めて、これらを調整して得た価格に基づき、競売市場を前提とした評価額を下記のとおり決定した。

I 積算価格の試算

1 基礎となる価格

① 建物価格

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて下記のとおり建物価格を求めた。

再調達原価 (円/㎡) ア	現況床面積(㎡) イ	現 価 率 ウ	建 物 価 格 (円) エ
400,000	× 81.24	× 0.34	= 11,050,000

ア 再調達原価：一棟の建物の平均単価

イ 現況床面積：固定資産税・都市計画税関係証明書記載の現況床面積（共用部分を含む）を採用。

ウ 現価率：

- ・経過年数約 29年、 経済的残存耐用年数約 21年、 観察減価率 20%（建物の状況を考慮した。）
- ・耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用し、 現価率を0.34と査定した。

$$\begin{aligned} \text{現価率} &= \text{経済的残存耐用年数約 21年} \div (\text{経過年数 29年} + \text{経済的残存耐用年数 21年}) \\ &\quad \times (1 - \text{観察減価率 0.20}) = 0.34 \quad (\text{小数第3位を四捨五入}) \end{aligned}$$

エ 建物価格：1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

② 敷地権価格(土地の符号1)

敷地権の目的である土地の敷地権価格を次のとおり求めた。

更地価格		地積(㎡) ウ	建付減価 エ	敷地権の割合 オ	敷地権価格 (円) カ
標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ				
453,000	× 1.00	× 866.11	× 1.00	× 7,132 / 158,178	= 17,690,000

ア 標準画地価格：下記規準価格を中心に、その他の価格資料等を斟酌して地域の標準画地の価格を求めた。

なお、標準画地は近隣地域において土地の概況（間口、奥行、規模等）が標準的な中間画地を想定した。

東京都基準地 「 北-11 」

$$\begin{array}{ccccccc}
 \text{(公示価格等)} & & \text{(時点修正)} & & \text{(標準化補正)} & & \text{(地域格差)} & & \text{(規準価格)} \\
 475,000 \text{ 円/㎡} \times & 105 & / & 100 \times 100 & / & 100 \times 100 & / & 110 & = 453,000 \text{ 円/㎡} \\
 & & & & & & & & \text{(上三桁未満四捨五入)}
 \end{array}$$

時点修正：基準地の価格時点から評価日までの推定変動率である。

標準化補正：基準地は標準的画地で補正の必要なし。

地域格差：基準地は対象地域と比較して環境条件等に優れると判定した。

イ 個別格差：二方路、形状等を総合的に考慮した。

ウ 地積：登記数量による。

エ 建付減価：必要なし。

オ 敷地権の割合：登記記載による。

カ 敷地権価格：1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

2 積算価格（敷地権付建物の価格）

建物価格(円) ア	敷地権価格(円) イ	価格補正 ウ	個別格差 エ	占有減価修正 オ	積算価格(円) カ
(11,050,000	+ 17,690,000)	× 1.00	× 1.17	× 1.00	= 33,630,000

ア 建物価格：前記1①エ

イ 敷地権価格：前記1②カ

ウ 価格補正：周辺類似のマンション取引水準等を斟酌してなしと判定した。

$$\begin{array}{llll}
 \text{エ 個別格差：階層別補正} & \cdots & 1.03 & \text{(5階)} \\
 & \text{位置別補正} & \cdots & 1.10 \text{ (角部屋)} \\
 & \text{その他補正} & \cdots & 1.03 \text{ (スカイガーデン付)} \\
 & \text{相乗積} & 1.03 & \times 1.10 \times 1.03 = 1.17 \text{ (小数第3位を四捨五入)}
 \end{array}$$

オ 占有減価修正：必要なし。

カ 積算価格：1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

Ⅱ 収益価格の試算（DCF法による）

目的物件は賃貸借に供されていないが、収益力を把握するために地域の標準的賃貸条件を参考として収益還元法を適用する。

目的物件を賃貸することにより分析期間中に得られるであろうと予測される有効純収益の現価の合計額に、分析期間末の正味復帰価格の現価を加算して、DCF法（Discounted Cash Flow 法）による収益価格を以下のとおり求めた。

但し、当該物件に関する収集可能な資料には限界があり、更に競売による売却後の現実の賃貸借は、特定の当事者間の契約行為によるものであるもので、必ずしも想定した賃貸条件に符合する内容が実現するものではない。

《 DCF法による価格査定表 》

3年間の 有効純収益 現価の合計 ア	正味復帰価格の現価					収益価格 ア+カ=キ
	4年目の 有効純収益 イ	最 終 還 元 利 回 り ウ	3年目期末 復帰価格※1 イ÷ウ×(1-0.03) エ	複 利 現 価 率 ※2 オ	正味復帰 価格現価 エ×オ=カ	
2,947,103 円 (12.8 %)	1,359,000 円	5.6 %	23,539,821 円	0.8540	20,103,007 円 (87.2 %)	23,050,000 円 (100 %)

※1 売却に要する仲介手数料等を売却価格(イ÷ウ)の3%と査定した。

※2 複利現価率の計算式

$$\frac{1}{(1 + 5.4\%)^3} = 0.8540 \quad (\text{小数第5位を四捨五入})$$

ア 3年間の有効純収益現価の合計：目的物件を賃貸することにより保有期間中（第1期～第3期）に得られるであろうと予測した各期の有効純収益を、複利現価率で現在価値に割り戻した額の合計である。

イ 4年目の有効純収益：保有期間終了後（4年目）の有効純収益である。

ウ 最終還元利回り：4年目の有効純収益から売却予測価格を求める還元利回りであり、標準的還元利回りに対象不動産の個別リスク等を考慮して査定した。

エ 3年目期末復帰価格：4年目の有効純収益を最終還元利回りで還元して求めた売却予測価格から対象不動産の売却に伴う仲介手数料相当額等を控除した価格である。

オ 複利現価率：一般市場及び競売市場における類型別収益物件の標準的な還元利回り等を参考に査定した。

カ 正味復帰価格現価：保有期間終了後に得られる正味復帰価格の現在価値である。

キ 収益価格：保有期間中に得られる有効純収益の現在価値と保有期間終了後の売却予測価格の現在価値の合計額で、1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

Ⅲ 評価額の判定

1 試算価格の調整

積算価格と収益価格を下記の通り試算した。
積算価格は、対象不動産を再調達する場合の費用性に着目して求めた価格であるが、本件においては周辺類似マンションの取引水準にも留意して求めたものである。
収益価格は、対象不動産が将来生み出すと予想される収益性に着目した理論的な価格で、投資用不動産の評価では重視される価格である。
本件はファミリータイプマンションで自己使用目的の需要者が見込めるため、積算価格を重視し、収益価格を参考として、調整後の価格を下記のとおり求めた。

① 積 算 価 格	33,630,000 円
② 収 益 価 格	23,050,000 円
③ 調整後の価格	33,000,000 円

2 評価額の判定

調整後の価格に、市場性修正及び競売市場修正を施し、さらに滞納管理費等相当額並びにその他の控除（敷金等）を考慮して評価額を決定した。

調整後の価格 (円) ア	市場性 修 正 イ	競売市場 修 正 ウ	滞納管理費等 相当額の減価 エ	その他の控除 (敷金等 円) オ	評価額 (円) カ
33,000,000	×1.00	×0.80	×0.97		= 25,610,000

ア 調整後の価格：積算価格と収益価格を調整した後の適正価格。

イ 市場性修正：本件の場合なし。

ウ 競売市場修正：「第2評価の条件」欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した修正を行った。

エ 滞納管理費等相当額の減価：滞納管理費等及び代金納付に至る間の管理費等の予想滞納相当額を考慮した修正を行った。

オ その他の控除（敷金等）：買受人の引受けとなる敷金等の預り金の控除。本件の場合なし。

カ 評価額：1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

第6 参考価格資料

東京都基準地価格 「 北-11 」

所 在 : 北区浮間三丁目2番16 「浮間3-21-13」

価 格 : 475,000 円/㎡

位 置 : 北赤羽駅、道路距離550m

価 格 時 点 : 令和7年1月1日

地 積 : 136㎡

供給処理施設 : 水道・ガス・下水

接 面 街 路 : 西6.3m区道

用 途 指 定 等 : 準工業地域、建ぺい率60%、容積率200%、準防火地域

地 域 の 概 要 : 比較的共同住宅が多く建ち並ぶ住宅地域

第7 附属資料

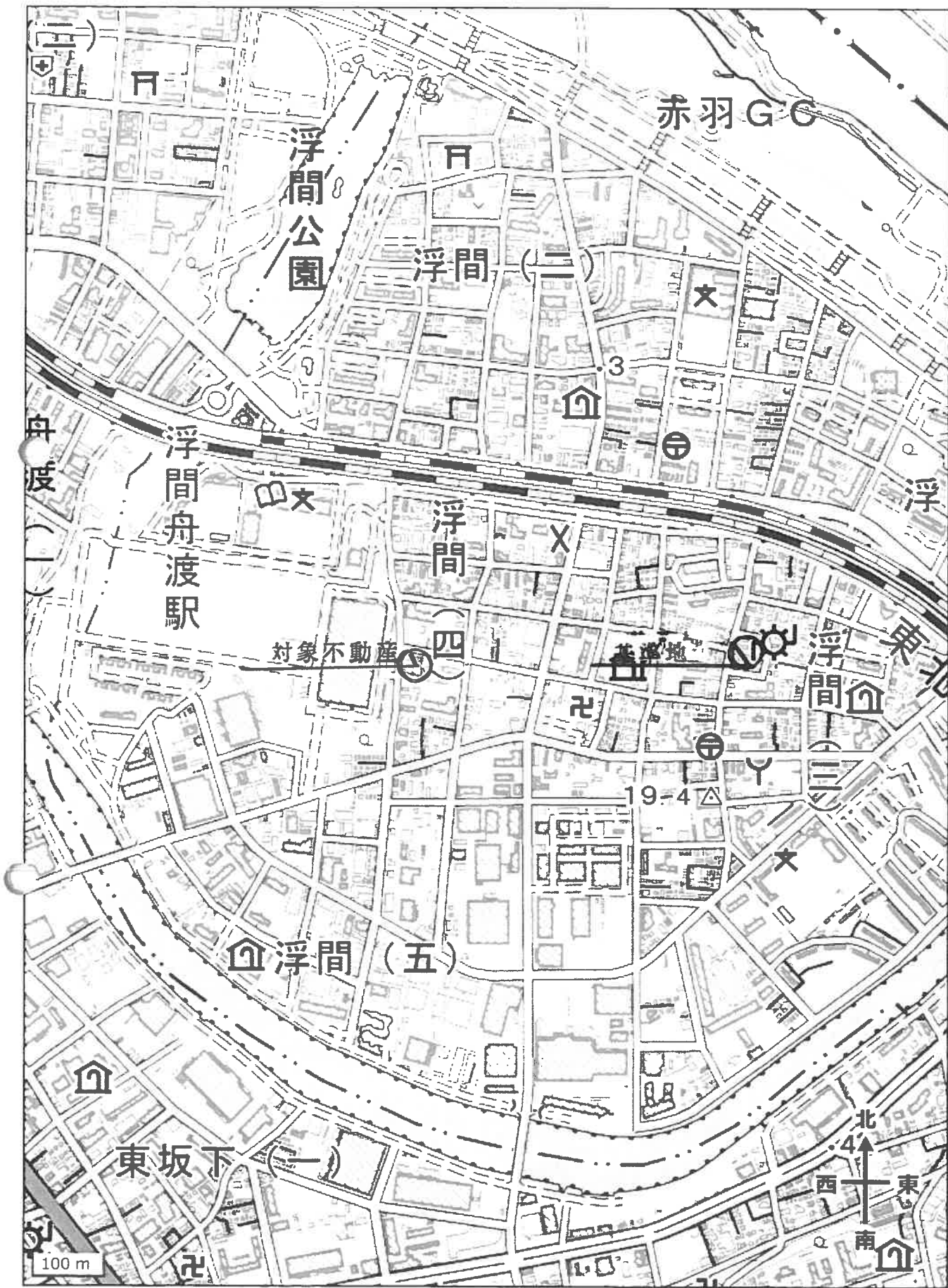
位置図

公図写

建物図面・各階平面図写 (A3をA4に縮小)

以上

令和8年7月10日
評価人 不動産鑑定士
岡村淑子



位置図

イ 19-45
ロ 10-21

N

別図

道

水



$\frac{1}{600}$

公図写

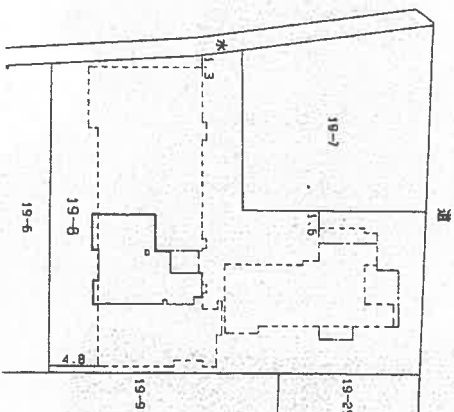
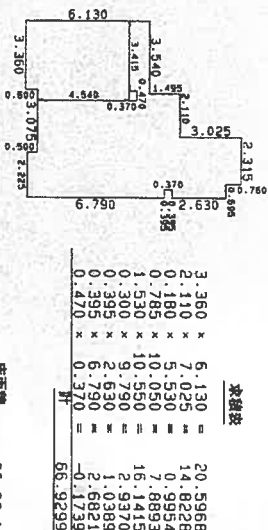
登記年月日：平成9年9月19日

各階平面図

家屋番号 浮間四丁目19番
8の504

建 物 図 面
建物の所在 北区浮間四丁目19番地8

建物の存する部分 5 階
建 物 番 号 5 0 4



これは図面に記載されている内容を証明した場面である。
(東京法務局北山支所管轄)
令和8年3月13日 東京法務局中野出張所 登記官